

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年6月6日 対象：5歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【米作り】

<テーマの設定理由>

昨年度の5歳児がお米作りをしているのを見て、興味を示していた。
日頃、食べているお米がどのようにできるのか成長を観察し、収穫・脱穀することで米作りへの興味関心を広げていきたい。また、作る過程を知ることによって、食べ物大切さや感謝の気持ちを育んでいきたい。

2. 活動スケジュール

6月中旬 →土作り(土の入れ替え、代掻き)
10月下旬→稲刈り
11月上旬→脱穀

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

スコップ、シャベル、古い土、ゴミ袋、土嚢袋、

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○土作り

- ・米作りの説明
- ・草むしり
- ・古い土を土嚢に詰める

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 「この土を全部出さないと綺麗な土が入れられないから頑張ろう」と土を入れ替える理由を理解し、土嚢袋に土を入れていく。
- 大きな土の塊をどける時に、「一人じゃ無理。誰か手伝って」と声を上げる子がいると、「良いよ。手伝ってあげる。」とまわりの友だちが集まってきて協力する姿があった。
- 「草が混ざってる。」「なんか汚れている。」「ぱさぱさしてるよ」と土を掘り返していくと様々な声が挙がっていた。



5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

去年の5歳児クラスの米作りの様子を見ていて、楽しみに思う子どもがいたが、消極的な子どももいた。途中で遊び始める子もいる中、最後まで行う子も多く、最後にほとんど空っぽになった容器を見て、「これで綺麗な土が入れられるね」「お米が作れるね」と友だちや保育士と喜び合う姿があった。最後まで行ったからこそその達成感だったように感じた。また、今日の土の感想と、入れ替えた土の感想に違いがあるのか楽しみである。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年6月13日 対象：5歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【米作り】

<テーマの設定理由>

昨年度の5歳児がお米作りをしているのを見て、興味を示していた。
日頃、食べているお米がどのようにできるのか成長を観察し、収穫・脱穀することで米作りへの興味関心を広げていきたい。また、作る過程を知ることによって、食べ物の大切さや感謝の気持ちを育んでいきたい。

2. 活動スケジュール

6月中旬 →土作り(土の入れ替え、代掻き)
10月下旬→稲刈り
11月上旬→脱穀

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・新しい土・赤玉土・培養土

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○代掻き

- ・土、赤玉土等を田んぼまで運ぶ
- ・田んぼに土、赤玉土、培養土、水を入れていく。
- ・足でよくかき混ぜていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 裸足でたんぼの中に入ると、「お水冷たい。〇〇くんも入ってみて」「うわ、土がぬるぬるしてて気持ちいい」等感想を話す子どもたち。
- 土に足がずぼっとはまり「足が取れなくなっちゃった。先生取って。」と身動きが取れなくなって援助を求める姿があった。保育士が足を引っ張ると「やっと動けるよ」と足を動かしていた。
- 少しずつスペースが空いてくると、容器の淵を持って「もっともっと」「良い土を作るんだ」「混ぜて～」とダイナミックに足を動かす姿があった。



5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

全員田んぼの中に入り土の感触を楽しんでいた。特に男の子たちは時間いっぱいまで全身泥だらけになりながら楽しんでいた。次は稲を植えることを伝えると、楽しみに思う子どもたちの姿が前回よりも多く見られ、徐々に米作りの実感が湧いてきているように感じられた。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年6月18日 対象：5歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【米作り】

<テーマの設定理由>

昨年度の5歳児がお米作りをしているのを見て、興味を示していた。
日頃、食べているお米がどのようにできるのか成長を観察し、収穫・脱穀することで米作りへの興味関心を広げていきたい。また、作る過程を知ることによって、食べ物大切さや感謝の気持ちを育んでいきたい。

2. 活動スケジュール

6月中旬 →土作り(土の入れ替え、代掻き)

10月下旬→稲刈り

11月上旬→脱穀

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・ 稲

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 稲を植える。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 田植えの為に田んぼに手を入れてみると「前（代掻き）と土が違う」「何かサラサラしてる」「本当だすごく気持ちいい」と変化に気付く。
- 田植え中は「先生、難しいよこれどうやるの?」と聞く子もいたが、個別で教えると自分で行えた。「苗植えるの楽しいね」「もうおしまい?もっとやりたい」と喜ぶ姿があった。
- 稲を植え終わると、「早くお米できないかな? おにぎりパーティー早くしたいね」と友だちや保育士に話をし、心待ちにしていた。



5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

前回の代掻きの時の土の感触と今回の感触の違いにすぐに気が付く子がいた。その子の言葉をきっかけに他の子も感触を確かめ、興味を深めていった。稲を植える際には濁った水で手元がわからず戸惑う姿も見られたが保育士と一緒にいることで理解し、次からは自信をもって植えていた。

稲を植えたことで出来上がりを心待ちにする気持ちがふくらんでいるように感じた。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年10月27日 対象：5歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【米作り】

<テーマの設定理由>

昨年度の5歳児がお米作りをしているのを見て、興味を示していた。
日頃、食べているお米がどのようにできるのか成長を観察し、収穫・脱穀することで米作りへの興味関心を広げていきたい。また、作る過程を知ること、食べ物大切さや感謝の気持ちを育んでいきたい。

2. 活動スケジュール

6月中旬 →土作り(土の入れ替え、代掻き)
10月下旬→稲刈り
11月上旬→脱穀

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ハサミ、麻ひも、

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 稲刈り
 - ・ 稲刈りの説明
 - ・ 稲刈り

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 稲刈りをした後米の観察を行い、「ここに皮みたいのがある」「これはたくさんお米がついている」と発見しては保育士に伝える姿がある。
- 稲刈りをしながら「1粒でもお米だから」「大事だよ」と1粒もお米を落とさないよう気を付けていた。
- 田んぼに稲の他に育っている植物を見つけ、「これは稲じゃないね。なんだろう？」と不思議に思いながら、稲だけ刈る姿があった。



5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

稲刈りをする中で、稲の観察を行い、様々な発見や疑問をもつ姿があった。また、出来上がったお米1粒まで大切にしようという姿があった。お米作りを通して食への興味や大切さが育まれているように感じた。疑問を一緒に考えたり調べていくとともに、今度の活動を通してもっと興味をもてるよう動画や写真でも事前に伝えていきたい。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和8年1月30日 対象：5歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【米作り】

<テーマの設定理由>

昨年度の5歳児がお米作りをしているのを見て、興味を示していた。
日頃、食べているお米がどのようにできるのか成長を観察し、収穫・脱穀することで米作りへの興味関心を広げていきたい。また、作る過程を知ること、食べ物大切さや感謝の気持ちを育んでいきたい。

2. 活動スケジュール

6月中旬 →土作り(土の入れ替え、代掻き)
10月下旬→稲刈り
11月上旬→脱穀
1月→お米を買いに行く
2月→おにぎりパーティー

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・事前にお米屋さんにご連絡を入れ、買い物に行く事を伝える。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・お米屋さんに行き、売られている様子や精米される様子を知る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・①お米屋さん到着時

子ども「ここでお米を作ってるの？」と不思議そうな表情を浮かべる。

保育士「お米を売るお店だよ。ここでは育ててないんだよ。」

子ども「そうなんだ」「どこで作ってるんだろうね？」と疑問に思っていると、

店員「色々な所で作っていて、それぞれ味が少し違うんだよ」と答える。

・②精米見学时

子ども「何でまだお米黒いの？」

店員「お米の周りに籾殻などが付いていて、この機械で白くきれいなお米にするんだよ」

子ども「白いお米が出てきた」と精米されたお米を見て、嬉しそうに話す。

①お米屋さん到着時



②精米見学时



5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

お米を作るという体験を行ってきたが、子どもたちの中には作る場所と売る場所が違う事を知らない子がいるという事が分かった。お米作りを通して作り方だけでなく、その先の子どもたちの口に入るまでの流れに付いても、今後しっかりと伝えて行きたいと感じた。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和8年2月26日 対象：5歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【米作り】

<テーマの設定理由>

昨年度の5歳児がお米作りをしているのを見て、興味を示していた。
日頃、食べているお米がどのようにできるのか成長を観察し、収穫・脱穀することで米作りへの興味関心を広げていきたい。また、作る過程を知ること、食べ物大切さや感謝の気持ちを育んでいきたい。

2. 活動スケジュール

6月中旬 →土作り(土の入れ替え、代掻き)
10月下旬→稲刈り
11月上旬→脱穀
1月→お米を買いに行く
2月→おにぎりパーティー

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・米
・水
・土鍋
・ガスコンロ
・塩
・サランラップ
・キッチンペーパー

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・育てたお米とお米屋さんで購入したお米を混ぜて土鍋でご飯を炊く。
- ・炊いたご飯を使用して塩おにぎりを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

●炊き方の手順を伝えると

「お米研いだことあるよ」と話す子がいる。

●お米が炊けるのをじっと観察しながら待っている子どもたち。土鍋から出る泡を見た時には「あ、泡が出てきてる」「いい匂い」「野菜の匂いに似てない？」と声が挙がる。炊き上がり蓋を開けた瞬間には「うわー、おいしそう」「早く食べたい」と話す。

●握ったおにぎりを食べた時

「すごい美味しい」「家のご飯より美味しい」「毎日おにぎりパーティーしたい」と絶賛する声が多く挙がった。



5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

日頃、家庭や給食で目にする、ご飯が炊けるまでの工程を見て、子どもたちも皆キラキラした目で炊き上がりを今か今かと待っていた。自分たちでおにぎりを作る事で普段は感じないような、香りなどにも気付く姿があった。また、友だちと一緒に作ったり食べたりする事で、より美味しさが増していたように感じた。